

「交流人口増加に対する施策に係る要望」 への山口市からの回答

当商工会議所は、中小企業の成長発展と活力ある地方創生に向けて、行政機関などへの 意見・提言活動を展開しています。去る6月29日(木)に河野会頭から渡辺市長に「交流人口増加に対する施策に係る要望書」を提出しました。

その要望に対し山口市から回答がありましたので内容を掲載します。



(1) 観光インフラの早期整備について

① 市内案内標識及び看板の外国語標記について

【回答】 現在、本市では、観光案内板の整備にあたりましては、内容の読みやすさや盤面サイズを勘案し、日本語・英語の併記と、ピクトグラム（案内用図記号）表示を基本として整備を進めており、その他の言語については、言語別に作成することができるパンフレットや、更新の即時性が高くサイズの制約を受けないモバイル機器によるウェブサイト閲覧、アプリ使用等のデジタル媒体を併用して対応しているところでございます。

看板の多言語表示、特に、歓迎看板を観光客の母国語で表記することは、単にアクセシビリティの向上のみならず、歓迎の意を表すホスピタリティの顕在化等の利点もあることから、日本語・英語以外の表記につきましても、表示内容や設置場所等を勘案しながら、外国人観光客の皆様の満足度を高めてまいり所存でございます。

② Free Wi-Fiの早期整備について

【回答】 無料で使用できるWi-Fi環境等、旅行中の通信環境につきましては、とりわけ外国人観光客のニーズは高く、観光情報の提供、同行者間との連絡の円滑化、ネット回線を利用した翻訳ツールの利用など、通信環境の充実を通じて訪日旅行の満足度を高めることができるものと考えております。

本市では、これまで、外国人観光客のゲートウェイとなる交通拠点施設、観光案内所をはじめとする情報発信施設、更にはインバウンド誘客プロモーションで重点的にセールスをおこなっている香山公園などの観光施設を中心として、年次的に、国や県の補助制度等を活用してFreeWi-Fiの整備を行ってきたところでございます。

このような中、インターネットへ接続せず情報閲覧が可能な旅行情報アプリケーションや外国人観光客向けに無料の携帯電話貸与サービスが発表されるなど、観光分野におけるICT技術関連サービスは、日々進歩し、拡充されておりますことから、引き続き、国や県、更には民間事業者の動向を踏まえながら、外国人観光客が気軽にインターネットを利用しやすい環境づくりに努め、観光客に選ばれる観光地づくりに取り組んでまいります。

(2) スペイン国との交流促進と「大内文化」の日本遺産登録について

【回答】 本市におきましては、姉妹都市締結等のゆかりがあるスペイン国とスポーツを通じた息の長い交流を図っていただけるよう東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録、事前キャンプ誘致等に向けた取り組みを進めてまいりました。その結果として、このたび、水泳スペイン代表チームの東京オリンピック等に係る事前キャンプ地等に決定いたしましたところでございます。

今後、スペイン国との交流促進につながるよう、事前キャンプの受入れやホストタウンに伴う各種交流事業に取り組むことで、スポーツを契機とした更なる人的交流を推進してまいりますとともに、日本・スペイン・シンポジウムの開催等を契機とした経済交流の促進に、官民連携により取り組んでまいり所存でございます。

また、室町時代に京都の文化と大陸文化が融合し、独自の文化として花開いた「大内文化」の日本遺産認定を目指した取り組みにつきましても、スペイン国をはじめとするインバウンドや在留外国人の来山の動機づけになると考えられますことから、現存する文化財等をベースとしたストーリー構成を検討しながら、日本遺産認定申請書の提出に向け、文化庁と協議を行ってまいります。

【山口市ふるさと創生部政策管理室】

